

中学歴史プリント（書き取り）
昭和時代（戦後）

名前

得点

/20

- 問1 1950年代半ばから1970年代初めにかけて続いた、日本の急速な経済成長を何という？
- 問2 利益を得るために、将来の価格変動を予測して土地や株式を売買することを何という？
- 問3 1956年の国連加盟よりも後に改定され、世論を二分する大きな反対運動も起きた条約を何という？
- 問4 1968年に日本人として初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成の代表作である小説を何という？
- 問5 第二次世界大戦後、世界の平和と安全を維持するために1945年に設立された国際組織を何という？
- 問6 1951年に日本が連合国側と結び、主権を回復するきっかけとなった講和条約を何という？
- 問7 1947年に制定された教育基本法が掲げた、戦後の日本の教育の根本理念は何という？
- 問8 第二次世界大戦後、日本の政治体制を軍国主義から平和主義へと変えるために行われた一連の改革のことを何という？
- 問9 日本国憲法の三大原則の一つで、国の政治の決定権が国民にあることを何という？
- 問10 1973年の第4次中東戦争をきっかけに原油価格が上昇し、日本では物価が急激に上がって買いだめ騒動が起きました。この現象を何という？
- 問11 ベトナム戦争などの戦火が広がる中、世界各地で平和を願い、戦争そのものに反対する動きを何という？
- 問12 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義陣営と激しく対立した、社会主義陣営の中心国を何という？
- 問13 1967年、東南アジア諸国の経済成長と平和を目的として結成された組織を何という？
- 問14 池田勇人内閣が所得倍増計画を推進した時期、日本の経済が急速に成長した期間を何という？
- 問15 1955年にアジア・アフリカ会議が開催された、インドネシアの都市はどこ？
- 問16 1950年に起きたある戦争の影響で、日本国内の治安維持のために創設された組織を何という？
- 問17 高度経済成長期に、都市部への人口集中によって発生した深刻な混雑や居住環境の悪化を指す言葉を何という？
- 問18 1972年に日本と中国の間で国交正常化が行われた際に署名された外交文書を何という？
- 問19 1973年に発生し、世界的な石油危機（オイルショック）の引き金となった戦争を何という？
- 問20 1950年代半ばから1970年代初めまで続いた、日本の経済が急速に発展した時期を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 高度経済成長	1955年頃から1973年のオイルショックまでの約20年間、日本は世界的に見ても驚異的なペースで経済発展を遂げました。これを「高度経済成長」といいます。重化学工業が中心となり、テレビ・洗濯機・冷蔵庫などの「三種の神器」が普及し、人々の生活水準も劇的に向上しました。
問2	答え 投機	企業や個人が、土地や株式を実際に使う目的ではなく、転売して利益を得る「投機」目的で買い漁りました。これにより実体経済の価値以上に価格が跳ね上がる状況が生まれました。
問3	答え 日米安全保障条約	1960年に改定された新条約では、アメリカの日本防衛義務が明記されました。しかし、日本側にも基地を提供する義務が残り、アメリカが日本の同意なしに軍事行動を取る可能性があることなどが大きな議論を呼びました。
問4	答え 雪国	『雪国』は、新潟県の温泉地を舞台に、旅人と芸子の交流を通じて「虚無」や「哀愁」といった日本的な美を繊細な表現で描きました。この作品を含む文学的業績が国際的に評価され、1968年にアジア人としては二人目、日本人としては初のノーベル文学賞を受賞しました。
問5	答え 国際連合	1945年に「国際連合憲章」が採択され発足しました。本部はアメリカのニューヨークに置かれ、総会や安全保障理事会などが主要な機関です。国際連盟とは異なり、アメリカやソ連（当時）などの主要国も当初から参加したことが大きな特徴です。
問6	答え サンフランシスコ平和条約	1951年にサンフランシスコで開催された会議で、日本はアメリカを中心とする連合国側と講和条約を結びました。これにより翌1952年に日本は主権を回復しました。ただし、ソ連などは条約に署名せず、領土問題などが後に持ち越される要因となりました。
問7	答え 民主主義教育	民主主義教育は、教育基本法に基づき、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を愛する国民を育てることを目指しました。これにより、生徒の自主性や主体的な学びが重視されるようになり、男女共学や教育の機会均等が制度として定着しました。
問8	答え 民主化政策	女性に参政権を与える「婦人参政権」の導入、農地改革による地主制の解体、教育基本法の制定など、政治・社会・経済の全般にわたり自由化と民主化が行われました。特に日本国憲法の制定は、基本的人権の尊重を明記する上で重要でした。
問9	答え 主権在民	日本国憲法の中心的理念の一つです。憲法が国民の代表によって定められたことや、選挙を通じて政治が行われることを通じて、民主主義の根幹として位置づけられています。
問10	答え 狂乱物価	エネルギーを石油に頼っていた日本は大きな打撃を受け、物価が急上昇しました。生活必需品がなくなるという不安から、スーパーなどでトイレットペーパーなどを買い求める行列ができ、社会が混乱に陥りました。
問11	答え 反戦運動	アメリカや日本をはじめ世界中で大規模なデモや集会が行われました。日本国内では沖縄の基地問題とも結びつき、国民的な関心事となりました。
問12	答え 冷戦	「冷戦」とは、両陣営が核兵器などで互いに直接戦うことは避けつつも、軍事同盟を競い、各地で代理戦争を繰り返した緊張状態を指します。互いの体制を維持・拡大するために激しく政治的に対立し、世界中で影響力を及ぼし合いました。
問13	答え ASEAN	インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国によって結成されました。当初は反共産主義の色合いもありましたが、次第に経済発展のための協力関係が強まりました。
問14	答え 高度経済成長	高度経済成長期は、日本の国民総生産が急激に増大し、自動車や家電などが一般家庭に普及した時代です。池田内閣の所得倍增計画は、この成長を加速させるシンボルとなりました。若年層が地方から都市へ移動し、労働力が豊富になったことも成長を支えました。
問15	答え バンドン	インドネシアのバンドンで開かれたアジア・アフリカ会議には、独立したばかりの国々を中心に29か国が参加しました。ここでは、大国の対立から距離を置き、発展途上国が連帯して平和を目指す姿勢が示されました。
問16	答え 朝鮮戦争	1950年、北朝鮮軍が38度線を越えて韓国に侵攻し戦争が勃発しました。この事態を受け、日本国内では占領軍の戦力が減ったため、治安維持を目的として警察予備隊が組織されました。
問17	答え 過密	この急激な人口移動により、都市部では住宅不足、地価の高騰、交通渋滞などが生じました。これが「過密問題」です。一方で、送り出した地方側では労働力不足や高齢化が加速する「過疎問題」が同時に進行しました。
問18	答え 日中共同声明	1972年、田中角栄首相が訪中し、毛沢東主席らとの会談を経て発表されました。この声明により、日本は中国政府を「中国の唯一の合法政府」として承認し、戦争状態の終結を確認しました。
問19	答え 第4次中東戦争	1973年、イスラエルとエジプトやシリアを中心とするアラブ諸国との間で第4次中東戦争が勃発しました。これをきっかけに、石油輸出機構（OPEC）の加盟国などが石油の生産制限や輸出禁止措置をとり、原油価格を大幅に引き上げました。これにより世界中で石油供給が滞り、日本でもトイレットペーパーの買い占め騒動などが起きるなど、国民生活と産業に大きな打撃を与えました。
問20	答え 高度経済成長期	重化学工業を中心に生産が拡大し、国民の所得も大幅に上昇しました。この時期、国民生活は大きく豊かになり、家庭電化製品が急速に普及しました。